

地盤品質判定士、地盤品質判定士補
ならびに地盤品質判定士協議会関係者の皆様へ

【地盤品質判定士通信 No.245】

昨日（12/8）午後 11 時 15 分ごろに発生した青森県東方沖の地震は、最大深度 6 強を観測いたしました。これを受け、気象庁と内閣府は「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました。これは、大規模な地震がおきる可能性が、平時より相対的に高まっていることを示す情報です。日ごろから備えている防災体制を再度見直すことが良いと思います。

早いもので今年も 12 月を迎えました。みなさま、毎年恒例ではありますが、慌ただしい年末を無事にお過ごしください。

1. NHK 首都圏ネタドリ 擁壁崩壊～進む老朽化 どう備えるか～ 放映予定

杉並区で発生いたしました擁壁と家屋の倒壊を受けまして、12 月 12 日（金）19：30 から NHK が標記の番組の放送を予定いたしております。判定士会技術委員長（兼協議会：資格制度監理委員長）の橋本先生（国士館大学）、神奈川支部の立花支部長が対応してくださっております。興味のある方は是非ご覧ください。

下記にて放送予定が公開されています。

<https://www.web.nhk/tv/pl/schedule-tep-g1-130-20251212/ep/NYGN8GGR51>

また、同様のテーマで NHK ラジオの「N らじ」にも対応いたしております。放送日は未定ですが、興味のある方は下記のホームページで適時ご確認ください。

<https://www.nhk.jp/p/nradi/rs/X7R2P2PW5P/>

2. 2025 年度 相談員研修 — 登録相談員になるための必須講座 —

一般社団法人地盤品質判定士会では、令和 3 年 4 月から「相談員登録制度」を運用しています。この制度は、一般市民から地盤品質判定士会に寄せられる宅地や擁壁等の地盤相談に対して、登録された相談員が対応できるしくみを整備することを目的とするもので、地盤品質判定士による宅地防災活動のひとつになっています。相談員登録制度の詳細につきましてはこちらのページ (<https://hanteishi.org/post-3727/>) でも解説していますのでご参照ください。

登録相談員になるためには「相談員研修」を受講していただくことが条件となっております。今後、相談員としての活動を希望される地盤品質判定士の方は本研修を受講していただき、相談員にご登録ください。

本研修では、戸建て住宅の基礎地盤における調査・地盤改良など技術上の解説に加えて、地盤・基礎に関わる法令面からの解説も行っております。相談員の予定のない方にとっても有用な内容になっておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■日 時： 令和 8 年 1 月 16 日（金） Zoom ウェビナーによるオンライン開催

■参加費： 5,500 円（消費税含む）

■C P D： G-CPD 3.5 ポイント（内：倫理 1.0 ポイント）を予定

■プログラム：内 容 ・時 間 ・講 師

1 相談員登録制度のしくみ 13:00～13:30

石橋 貢【地盤品質判定士】（地盤品質判定士会技術委員会）

2 市民相談の流れと相談員の心構え 13:30～14:30

立花 秀夫【地盤品質判定士／(株)八州】（地盤品質判定士会神奈川支部支部長）

3 戸建て地盤調査・地盤改良の実態 14:30～15:30

福田 靖浩【地盤品質判定士／(株)データ・ユニオン】（地盤品質判定士会神奈川支部幹事）

休憩 15:30～15:40

4 宅地相談に関する法令・基準 15:40～16:40

沼上 清【地盤品質判定士／東京都市大学客員教授】 (地盤品質判定士会神奈川支部幹事)

5 質疑応答 16:40～17:00

■申込み方法：講習会情報・各種販売システムよりお申し込みください。

■申込み締切：令和8年1月9日（金）

■参加方法：開催日の数日前にZoom入室用のURL、講義資料（PDF版）のダウンロード方法等をメールにてお知らせいたします。

■お問合せ：本研修に関するお問い合わせは下記までお願ひいたします。

問合せ先：kosyukai2@hanteishi.org

詳細は下記を参照ください。

<https://hanteishi.org/post-8685/>

3. 2025年度地盤品質セミナー開催のお知らせ *再掲

2025年度地盤品質セミナーは、「宅地盛土・擁壁に関する諸問題と判定士の役割」をメインテーマとして開催されます。

令和6年能登半島地震では、北陸地方の広い範囲で宅地被害が発生しました。特に宅地盛土の被害が非常に多く発生し、金沢市東部の住宅地での斜面崩壊や、新潟県糸魚川市の盛土造成地での擁壁崩壊などが報告されています。また、直近では東京都杉並区で築50年以上の擁壁が崩れ、住宅が倒壊する事例も発生しています。こうした盛土災害への危機意識から、全国一律の基準で規制する「宅地造成及び特定盛土等規制法」（盛土規制法）が2023年5月26日より施行され、その運用が始まっています。

本セミナーは、こうした背景を踏まえ、盛土地盤の被害事例や判定士会の活動報告、擁壁の変状問題と判定士会の関わりなど、最新の課題と動向について話題を提供します。本セミナーは、住宅地盤・基礎に関する建築士や建築・土木系の技術者の方々のみならず、不動産鑑定士、弁護士、保険関係の方々などの知見向上に繋げるとともに、地盤品質判定士の更なる活動を推進することを目的としております。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

◆開催形式：対面とWebのハイブリッド形式（WebはZoomウェビナーによる配信）

◆主 催：一般社団法人 地盤品質判定士会

◆日 時：令和8年1月23日(金)

◆会場（対面）：地盤工学会地下講堂（〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号）

◆G-CPD ポイント：5ポイント

◆定 員：対面：60名、Web：200名

◆内容・講師

1. 開会の挨拶 10:00～10:10 北詰昌樹 【一般社団法人地盤品質判定士会 理事長】

2. 宅地盛土地盤の変状および盛土規制法

(1) 話題提供：

・「盛土地盤の被害事例」10:10～10:40

佐藤 真吾 株式会社復建技術コンサルタント【（一社）地盤品質判定士会 東北支部長】

・「判定士会の活動報告」10:40～11:10

門田 浩一 パシフィックコンサルタント株式会社【（一社）地盤品質判定士会 審査部会会長】

休憩（10分） 11:10～11:20

(2) キーノートレクチャー

・「盛土規制法の現状について」 11:20～12:10

奥山 悠木 【国土交通省都市局都市安全課企画専門官】

昼休み（50分） 12:10～13:00

3.擁壁の変状問題と判定士会の関わり

(1) 話題提供：

- ・「擁壁の変状に関する相談事例」13:00～13:30

立花 秀夫 【(一社) 地盤品質判定士会 神奈川支部長】

- ・「擁壁に対する訴訟事例」13:30～14:00

秋野 卓生 弁護士 【弁護士法人 匠総合法律事務所】

休憩（10分） 14:00～14:10

(2) キーノートレクチャー：

- ・「市街地の既存擁壁における現状と課題」 14:10～15:00

西村 真二 株式会社 UR リンケージ 【(一社) 地盤品質判定士会 神奈川支部幹事】

休憩（10分） 15:00～15:10

- ・「擁壁の設計施工の考え方」 15:10～16:00

橋本 隆雄 国土館大学特任教授 【(一社) 地盤品質判定士会技術委員会委員長】

休憩（10分） 16:00～16:10

4. Q&Aコーナー

メインテーマ：宅地盛土・擁壁に関する諸問題と判定士の役割 16:10～16:50

司会進行

利藤 房男 応用地質株式会社 【(一社) 地盤品質判定士会 幹事長】

5.閉会の挨拶 16:50～17:00 渡部 要一 北海道大学教授

【公益社団法人 土木学会地盤工学委員会委員長】

【注】講師、内容、講義時間等は、各種事情により変更させていただく場合があります。

◆申込み締め切り日：令和8年1月16日(金) ※開催日の1週間前

詳細は下記を参照ください。

<https://hanteishi.org/post-8666/>

4. 第2回木材地中利用シンポジウム開催のお知らせ

一般社団法人 日本木材地中活用推進協会

以下の通り「第2回木材地中利用シンポジウム」が開催されます。

(一社) 地盤品質判定士会は後援いたしております。

振るって御参加ください。

◆主催：(公社) 土木学会 木材工学委員会 地中使用木材の耐久性と利用実態の分析評価研究小委員会

(公財) 国際緑化推進センター

(一社) 日本木材地中活用推進協会

◆日時：2026年1月27日(火) 13:00～16:00

◆場所：土木学会講堂 (WEB併用)

◆参加費：無料

◆定員：70名(現地参加), 500名(WEB参加)

◆プログラム：

司会 溝渕木綿子 ((一社) 日本木材地中活用推進協会事務局長)

13:00～13:10 主催者挨拶 沢田治雄 ((公財) 国際緑化推進センター理事長)

1. 木材地中利用の政策と現状(タイトルは仮)

13:10～13:30 木材利用による炭素貯蔵効果の評価に係る動向

中村誠 (林野庁木材産業課課長補佐)

13:30～13:50 気候変動枠組み条約の下での伐採木材製品(HWP)への杭丸太の算入方法の試案

高原繁 ((公財) 国際緑化推進センター 専務理事／(一社) 日本木材地中活用推進協会会长)

13:50～14:20 木材地中利用の価値、利用量および国内における木材を使った軟弱地盤対策の設計法の現状

沼田淳紀 ((一社)日本木材地中活用推進協会代表理事／ソイルウッド代表)

14:20～14:40 休憩

2. 木材を使った軟弱地盤対策の設計方法（タイトルは仮）

14:40～15:15 粘性土地盤を対象とした軟弱地盤対策の設計方法－QP パイル工法を例に－

森山俊祐 ((株)九州パイリング課長)

15:15～15:50 砂質地盤を対象とした液状化対策の設計方法－LP-LiC 工法を例に－

村田拓海 (飛島建設(株) 副主任)

3. 総括と閉会挨拶

15:50～16:00 原忠（地中使用木材の耐久性と利用実態の分析評価研究小委員会委員長／高知大学教授）

◆申し込み方法：以下の、土木学会ホームページの「本部主催の行事申込」よりお申し込みください。

<https://www.jsce.or.jp/events>

◆詳細：以下のホームページを御参照下さい。

<https://committees.jsce.or.jp/mokuzai/#node-98>

2025年12月9日（火）

//////////////////////////////

地盤品質判定士協議会 事務局

〒 112-0011 東京都文京区千石 4-38-2

公益社団法人 地盤工学会内

Tel. 03-3946-8766 Fax. 03-3946-8678

e-mail jage@jiban.or.jp

//////////////////////////////